

名古屋大学大学院・国際言語文化研究科・応用言語学講座

## 第9回公開講演会

# 名詞における項の選択と事象性

共催：現代日本語学研究会（第128回）

### 講師

小野尚之先生  
（東北大学大学院国際文化研究科・教授）

### 日時

2011年12月7日（水） 午後5時半～7時

### 会場

名古屋大学・全学教育棟北棟406室

動詞による項の選択は本質的な意味で事象性の表現である。しかし、名詞による項の選択は事象性の表出であるとは必ずしも言えない。個体名詞（「人間、自動車、木」）あるいは関係名詞（「父、手、先生」）は直接事象に結びついていないので、それらの項構造は事象性を示すわけではない。本発表は、このような動詞と名詞の本質的な項構造の違いを、Generative Lexicon のアプローチによりオントロジーという概念を導入することで捉えることを提案する。オントロジーには大別して事象的（主題的）オントロジーと非事象的（属性分類的）オントロジーがあるが、これを受けて、名詞の項選択には事象的モードと関係的モードがあると想定する。この仮説の下で、名詞の項選択は、事象的なファクターと非事象的なファクターが相補的に作用していることを、動詞由来の動作主名詞や個体名詞化、あるいは複合語における項選択の議論を通して示したい。

来訪歓迎・入場無料

連絡先：堀江薫教授（[horieling@gmail.com](mailto:horieling@gmail.com)）